

## 本校の現状と今後の方向性について

天童中部小学校 校長 大谷敦司

「特別な一年」になっています。様々な点で、ご迷惑・ご負担をおかけしておりますことを心苦しく思っております。お許しください。

現在のところ、学校の主役である子供たちは落ち着いて生活しています。家庭や地域の方々のお力添えによると感謝いたしております。まだまだ先行き不透明ですが、今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

以下、「安心・安全、つながり、学力の保障」の 3 つの柱で本校の現状と今後の方向性等についてお話しいたします。

### 1. 安心・安全

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)については、一時落ち着いていたように見えていましたが、このところ感染拡大傾向のようです。本県でも、約 2 か月ぶりに感染者が確認されました。各種報道で専門家の話を伺うと、短期間でコロナに完全に打ち克つ見込みはなく、with コロナで生活していくより他にはないようです。

本校でも、学校再開当初は緊張感があったのですが、ここにきて少し気が緩み行動にも隙があったように感じています。

全国的には、学校における教育活動を停止しなければならない学校も出てきました。「かけがえのない自分と大切な人を守る」ため、もう一度原点に戻って、感染防止に努めていきます。まだまだ決して油断できる状況ではないことを子供たちや教職員で共通理解し、子供たちも発達段階に合わせて、新しい生活様式に沿った行動を自ら考え実行できるよう支援して参ります。

### 2. つながり

教育活動の推進には、子供たちと教職員のつながりが不可欠です。先日のように、学校における教育活動が一時止まることになっても、つながりがあれば、形態を変えながら学びを進めていくことは可能です。

先月、個人面談が行われました。日頃から、子供理解に努めていますが、一対一で話すことで見えてくることは少なくありません。加えて、朝の会や日記、休憩時間の会話等、授業以外の場面でも、子供たちとの関わりを出来る限り多くもち、子供理解を進めながら信頼関係を大切にしていきます。

保護者の方々も、お気づきの点等がありましたら、まずは担任までご遠慮なくご連絡いただきたいと思います。

### 3. 学力の保障

本校の保護者の方々には、何度もお話してきましたが、今求められる「学力」で特に大切なのは、主体的に学び続ける力です。それには学びを自己評価し、自らの学習を調整できることが求められます。こうした力があるからこそ、家庭学習にも丁寧に取り組むことができます。学校再開後も、自学・自習を意識し、高学年では自由進度学習にも取り組んでいます。

もう一つ大切なのは、ICTのスキルです。残念ながらICT関連の環境が整っているとは言えない状況ですが、その範囲でできることに積極的に取り組んでいます。PCルームもタブレットもほぼフル稼働の状態です。

行事等で伸びる力も大切な学力です。しかしながら、「特別な」状況のため、「例年通り」には実施できません。例えば運動会・体育祭や文化祭に関しても、「(実施するにしても)原則として、児童生徒及び教職員以外の参観は見合わせることとする…」等と最新の県教育長からの依頼文書には示されています。様々な行事の実施の有無・内容等について、最終的には各学校の判断によりますが、安心・安全が最優先するのは当然です。こうした状況の中でも、子供たちの力を伸ばすために実施できることを検討し少しでも実現していきたいと思っています。

本日の三役会は開票作業もあったため、対面で行われました。

今後は、状況によって対面が難しい場合、リモート、オンラインでの実施も検討していく必要があります。

「特別な一年」になっていますが、子供たちにとってはかけがえのない一年です。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。